

# ラーニングテクノロジー開発室

## ニュースレター

### WebCT活用授業レポート

### チャットツールを用いて討議を経験させる活用例



今回は、医療情報システム研究センター、理工学部兼担の水谷晃三先生にお話をうかがいます。

**LT** どのようにお使いになっているのでしょうか。

**水谷先生** WebCTは、担当している科目の多くで、コンテンツの提示、課題や出席情報のチェックなどに使っています。

2008年度後期の「情報技術演習(初級シスアド)」という科目では、WebCTのチャットツールを使ったブレインストーミング(BS)法演習を行いました。当科目ではITパスポートという国家試験の試験範囲をカリキュラムとしています。試験範囲に「企業活動」が含まれており、アイデア創出法としてBS法があります。BS法は、批判は禁止、自由に発言する、アイデアの結合、質より量といった4つのルールに基づいて議論するものです。何かを決めるための議論ではなくて、自由に話してアイデアを見つけるといったタイプの議論の経験を学生にさせてはどうかと考えて始めました。

**LT** 授業時間中に行われたのでしょうか。

**水谷先生** はい、正味90分間ほどで実施しました。4名から8名のグループに分けて、グループごとにチャットの部屋を用意しました。クラス的人数は50名程度なので、教室で一斉に議論すると、各グループの状況を把握するのは難しいですが、このツールを使えば、状況の把握が容易で教室の統制も取りやすいのです。議論の前後には、自分の解答をワークシートに記入させて比較・考察させました。

**LT** 学生の反応はいかがでしたか。

**水谷先生** ほぼ全員が発言していましたね。その点では、最初の試みとしてはうまくいったと言っても

いいのかなと思います。議論が成り立つかどうか心配していましたが、学生たちは、それなりに考えようとしていたようです。今の学生たちは電子メールやブログなどのICTを使ったコミュニケーションに慣れているので、PCを通して発言する方がむしろ発言がしやすいのではないかと思います。学生へのアンケート結果からは、今後もチャットツールを使って議論をしたいと考えている学生が8割近くいることも分かりました。

**LT** 学生が発言しやすい環境ということでしょうか。今後はどのようなことをお考えでしょうか。

**水谷先生** まだまだ工夫の余地があると思います。先入観に捕らわれて議論が発展しないということがあったかもしれません。議論の内容を見ると、もっと幅広い発想で議論してほしいと感じました。それを促すために、視野を広げるようなヒントを示すべきかどうかを検討しています。今年度も実施するので、先にお話したワークシートや発言数などを分析して、今後どのように進めるかを考えたいと思います。

もちろん、最終的には人前で議論や発表をできるようになることが望ましいと考えています。この取り組みは、いろいろな方法の一つであり、いわば入口にあたるものと位置付けています。

**LT** チャットも、議論を経験する方法の一つということでしょうか。どうもありがとうございました。

この授業実践は、LT開発室年報第6巻に寄稿していただきました。ぜひご覧ください。

## お知らせ

### ◆ FD・LT合同セミナー「授業改善セミナー」

・日時：11月9日(月) 13:20~14:50

(宇都宮キャンパスは学祭後片付けで休講の日です)

・会場：宇都宮キャンパス 本部棟2号館101教室

授業実践の考え方や実践結果・授業改善などの情報を共有し、教育改善に役立てることを目的としたセミナーです。

詳細はLT開発室のウェブサイトをご覧ください。

### ◆ Bbカンファレンス2009 in OSAKA

～効果的なeラーニングの活用～

「Bbカンファレンス」が、12月4、5日に大阪大学中之島センター 他で開催されます。

詳細は以下のウェブサイトをご覧ください。

<http://csklc.jp/event/2009conf-info.html>

### ◆ e-Learning WORLD 2009 報告

e-Learning WORLD 2009実行委員会、フジサンケイ ビジネスアイ、(株)シー・エヌ・ティ共催による「e-Learning WORLD 2009-Expo & Conference」が、8月5~7日に開催されました。本学からは、LT開発室室員2名が参加しました。

### ◆ 教育システム情報学会第34回全国大会 報告

教育システム情報学会(JSiSE)主催による「第34回全国大会」が、8月19~21日に開催されました。本学からは、LT開発室室員3名が参加しました。

以上2件の報告の詳細は、LT開発室のウェブサイトをご覧ください。

## WebCTコンテンツショーケースを活用したファカルティ・デベロップメント



帝京大学ラーニングテクノロジー(LT)開発室では、WebCT上で実際の授業で利用したコースコンテンツを閲覧し合うために、コンテンツショーケースを開設しています。学内の教職員にコースコンテンツを公開してもよいとお考えの教員の方に、ショーケースにコンテンツを出品していただきます。これらを一覧にまとめて、コンテンツショーケースのためのIDで閲覧できるようにしています。

コンテンツショーケース内のコースをのぞいてみて、どのような教材を作っているのか、WebCTの機能をどのように活用しているのかを知ることで、自分のコースづくりに役立ちます。また、同じようなことを教えたいときに、使える教材を共用することも考えられます。

こうした情報共有はFD(ファカルティ・デベロップメント)の活動として位置付けることができます。実際、FDの活動の一つとしてお互いの授業を参観し合うことがあります。しかし、なかなか時間の都合が合わないのも事実です。また、コースコンテンツを見せ合うことは授業参観とは別の視点での情報共有になります。つまり、授業参観は1回の授業をより良く実施するという視点での情報共有に役に立ち、コースコンテンツを見せ合うことは、15回の授業全体をどう設計するか、その設計の中で1回1

回をどう位置付け、具現化するかといった視点での情報共有に役立つFD活動であるといえます。

コンテンツショーケースを閲覧するための共通IDは、この度、WebCT上に新設したコース「eラーニングの広場」に掲載します。「eラーニングの広場」は、帝京大学の教職員のWebCTユーザを全員登録したコースです。このコースのメール機能やディスカッション機能を利用して、コンテンツショーケースに公開されたコースについて担当教員と質疑応答したり、授業改善に向けた議論をすることも可能です。「eラーニングの広場」が帝京大学におけるFD活動の一つとして役立つことを期待しています。

現在、LT開発室ではこのコンテンツショーケースのリニューアル作業をしており、コンテンツショーケースに出品してくださる方をあらためて募集しています。詳しくは以下のLT開発室ウェブサイトをご覧ください。

<http://www.lt-lab.teikyo-u.ac.jp>

</activity/showcase/index.html>

また、コンテンツショーケースを閲覧したい方で、WebCTへのユーザ登録がお済みでない方は、どうぞLT開発室までご連絡ください。

### ■ Tips

#### ～ WebCTのテスト問題の一括入力 ～

テスト問題の入力は通常WebCT上で1問ずつ行いますが、入力のために質問作成や保存といった指示をする必要があるため、問題の数が増えると作業が煩雑になります。また、入力済みの他の問題を参照しながら新たに問題を入力するといったこともWebCT上では簡単とはいえません。

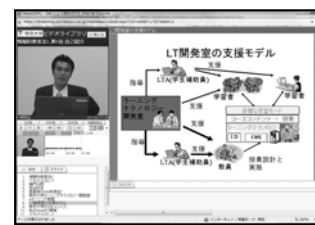
このような場合、WebCT上ではなくExcelなどの表計算ソフト上で問題を一括して入力して、これをまとめてWebCTへアップロードする方法がおすすめです。この方法で入力できる問題の形式は、選択、真偽、短文、並べ替え、穴埋めの5つの形式です。入力作業に必要なソフトウェアは、表計算ソフトの他にWindowsやMac上で動作する「アセスメント一括アップロードツール」というものが必要になります。このツールやマニュアルは、WebCT上のコース「eラーニングの広場」にて配布しておりますので、必要の際はそちらをご覧ください。

### 講義ビデオ作成・配信システムをご活用ください!!

宇都宮キャンパスでは講義ビデオの作成・配信システム(ビデオライブラリ)を導入しています。本システムには、3タイプの撮影方法があり、教室での授業撮影だけではなく、事前にビデオを撮影して配信するという使い方もできます。撮影はご要望に応じて学生アシスタント(LTA)がお手伝いします。ぜひご活用ください。

機材の貸出し、撮影をご希望の方はLT開発室までご連絡ください。詳細はLT開発室のウェブサイトをご覧ください。

#### ☆講義ビデオのイメージ



**編集後記** 木々の葉も色づき、朝夕肌寒くなってきました。次号の発行頃にはLT開発室に来て1年になると思うと、反省深く、日々成長と自分を励ましています。これからは編集後記にもときどき登場しますのでお見知りおきください。10月より秋澤里美さんを新スタッフとして迎え、皆で頑張っていきますのでよろしく願いいたします。(渡部)

ラーニングテクノロジー開発室連絡先 <http://www.LT-Lab.teikyo-u.ac.jp/>

宇都宮キャンパス本部棟2号館2F 203室 028-627-7243 (直通)

◇一般的なお問合せ: [LT-Staff@LT-Lab.teikyo-u.ac.jp](mailto:LT-Staff@LT-Lab.teikyo-u.ac.jp)

◇技術的なサポート: [LT-Support@LT-Lab.teikyo-u.ac.jp](mailto:LT-Support@LT-Lab.teikyo-u.ac.jp)

◇室員: 熊澤 弘之(室長), 渡辺 博芳, 古川 文人, 高井 久美子, 及川 芳恵, 渡部 里美, 秋澤 里美

